

リトレッドを中核としたサステナビリティビジネスの推進

(実施期間：2020～)

技術テーマ区分番号：⑱

主な実施場所：東京都小平市

取組活動の内容

事業目的・概要

- ブリヂストングループは、2050年以降を見据えた**環境長期目標として100%サステナブルマテリアル化**を掲げ、目標達成に向けて2030年を目標年とした新たな**環境中期目標「マイルストーン2030」**を策定し、2030年までに再生資源または再生可能資源に由来する原材料の比率を40%に向上させ、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。
- 資源循環と連動させたCO2削減として、**タイヤのトレッドを貼り換え再利用するリトレッドサービス**を展開しています。さらに当社独自の技術をベースに、リトレッドに適した耐久性、偏摩耗防止に優れた「断トツ商品」、適切なメンテナンスの提供により、1本のタイヤを複数回リトレッドすることが可能になります。
- お客様に当社のタイヤを3回使用いただく前提で、**新品タイヤ3本と新品低燃費タイヤ1本とリトレッド2回を比較した場合、製造段階での使用原材料とCO2排出量を半減できます**。さらに、「断トツタイヤ」、リトレッド、メンテナンスの組み合わせを提供することで、お客様に、タイヤを安全に、より長く経済的に使用いただけます。(トラック・バス用タイヤ、調達・生産・流通+廃棄/リトレッドをスコープとしたCO2排出量)
- ブリヂストングループは独自の技術・ビジネスモデルの創出により商品のライフサイクル、バリューチェーン全体を通じて社会、お客様、パートナーと新たな価値を共創していきます。

関連外部リンク先

株式会社ブリヂストン企業サイト内「CO₂を減らす」

https://www.bridgestone.co.jp/csr/environment/reduce_co2/index.html

ブリヂストングループ サステナビリティレポート2019-2020

<https://www.bridgestone.co.jp/csr/library/pdf/sr2019.pdf>

イメージ図



図1.2030年に向けたサステナビリティビジネスモデル

■タイヤライフサイクルにおける環境貢献



図2.タイヤライフサイクルにおける環境貢献